**資料5（別紙）**

**令和６年度高齢者あんしんセンター設置法人事業予算について**

**１．令和６年度高齢者あんしんセンターの予算について**

**ア．基本委託料等**

・ 基本業務

年額　緑風園　　　　；24,415,000円

　　　　　　　長生園・萱振苑；21,363,000円

他12包括　　；18,312,000円

・ 啓発経費　　年額157,500円

・ 地域包括支援センター運営システムサーバーリプレイス設置経費（14包括）

年額241,560円

* 地域包括支援センター運営システム導入経費（1包括）

年額2,142,690円

・ 地域ケア会議推進事業費　年額116,000円

**イ．実績加算分**

・ 実態把握委託料　　　　　　　　　　年間　800,000円

・ 地域型介護予防教室事業委託料　　　年間　528,000円

・ 家族介護教室事業委託料 　　年間　198,000円

・ 河内音頭健康体操立ち上げ支援費　　年間　61,600円

**ウ．介護予防支援費及び介護予防ケアマネジメント費**

**エ．徘徊高齢者家族支援事業実態把握委託料**　1件あたり　3,520円

**２．令和６年度高齢者あんしんセンターの事業経費予算の総計**

　　　　総計は、3億8245万1173円となっている。

**３．事業計画**

　①介護予防支援事業

・銭湯で「健康教室」を開催し、介護予防の働きかけを行う。

・地域の集いの場・カフェ等に参加し、包括の周知・フレイル予防の啓発活動を継続していく。

・ICTを活用して、多様な自立支援や介護予防の取り組みを企画し、運営していく。災害時の情報管理を想定して、必要な機関との情報共有を行っていく。

・保健事業と介護予防の一体的実施を推進し、健康科学センターと連携し、ICTを活用するなど身近な地域で介護予防の取り組みをしやすい環境を整備する。

　②総合相談支援業務

・防災訓練、フェスタに加え、法人でのイベントや地域カフェでの包括展を開催し、子供から高齢者まで幅広い世代への高齢者あんしんセンターの周知を行う。

・メールやLINEでの相談受付。認知症カフェと併せて、ICTを活用したオンライン相談会を実施する。

・他分野との連携体制を整備し、包括的な相談支援体制を強化出来るように試みる。

・認知症の相談が多いため、認知症について理解できるよう家族指導・助言・負担軽減を図り、虐待の未然防止につなげていく。

③権利擁護業務

・地域で認知症の理解を深めていく為にも八尾市認知症地域支援推進員と協働の元、地域行事等において認知症の理解を深める為の啓発活動、認知症キッズサポーター養成講座を開催する。

・権利擁護支援センターとの連携、法律支援事業の積極的活用により、虐待や財産管理その他権利擁護に関する支援体制を強化する。

・虐待対応を終結しても再発し、対応しているケースが複数ある為、地域包括のみでの対応ではなく、チームとして対応にあたれるよう関係機関とのネットワークの構築に尽力する。

④包括的・継続的ケアマネジメント業務

・支援困難事例等ケースの共有を行い、ケアマネジャーの後方支援や関係機関との調整、連携体制を整える。また必要に応じて随時会議の開催調整も行う。

・地域の介護支援専門員が抱える困難ケースについて具体的な支援方針を検討し、支援や助言などの専門的なサポートを行う。

・圏域で開催されるケアマネ連携会議等の事例検討会に参加し、関係づくりや資質向上に努める。

⑤多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

・高齢者世帯の8050等の課題に対して、切れ目のない支援体制が構築できるよう保健・医療・福祉の多機関と連携を図り、地域の見守りネットワークを進めていく。

・地域での高齢者、認知症の人を支える取り組みの一環として「認知症カフェ等ワークショップ」を継続開催し、高齢者あんしんセンターだけではなく、医療・福祉の関係機関に広げていく。

・地域ケア会議を通じ、保健・福祉・医療及び地域の関係者への働き掛けによるネットワークの強化、相互の繋がりを構築する。

⑥地域ケア会議の実施

・随時会議の開催や地域の実態把握から地域課題を抽出し、地域ケア会議で課題解決に向け、関係機関の協力を得ながら具体的な取り組みを検討する。

・自立支援型地域ケア会議について、居宅介護支援事業所と連携しながらケアマネジメントの向上を図る。

・本人、家族、ケアマネジャー等の関係機関からの相談を元に多職種連携を図りつつ、課題解決に向けて随時会議を開催する。